

ある本に書かれていた。

家賃を払うことがなくなって7年。
家具を所有することがなくなって7年。
その間住んだ場所10カ所。

振り返ってみて初めて気づいた。
7年+10カ所ともなると、もはや偶然とは言えない。
意識せずにここまで来てしまったが、
いつの間にか何かへとシフトしていたようだ。

そんなことを考えるきっかけになったのは
最近の引っ越しサインだった。
ジプシーの私は又どこかへ行くらしい。
この地にいる意味を理解し、バランスしたところで、
次に必要なものが見えてきている。
タイミングが近づいてきている。

「家具あり・家賃なし」
今しばらくこのスタイルは続くだろう。
そう考えるのが自然だろうと思う。

住まいは供給される。
”ヒトが探す”というより、”向こうからやってくる”が近い気もする。
私はこの身と体を覆うものだけ持って、ジプシーさながらに

ヒョイヒョイ身軽に移動すればいいらしい。

”向こうからやってくる”といえ、こんなこともあった。

15年前のこと、

ある日突然海外のリゾートに住み始めて結局1年間住んだ。

1年も一所（ひとところ）に起居すれば、

それは旅ではなく住まいと呼ぶべきだろう。

波の音が聞こえる2階建てバンガローでの生活、

宿泊・食・ドリンクまで全てがリゾートオーナーの好意であったが、

私たちは知り合い以上の関係ではない。

イタリアの富豪の一人息子だったので気前がよかったのだ。

そして去年は、海外に3か月滞在したが、

往復航空券・宿泊費・食費が込みであった。

どちらも先方からの申し出に、私が乗った。

これら一連のことに気づいて「お～、なんとミラクルなことよ！」と

今更ながら驚いた。

案外、私は能天気なのかもしれない。

ミラクルは滅多にないからミラクル（奇跡）と呼ぶが、

頻度が増えればシンクロ（シンクロニシティ＝共時性）。

更に増えれば当たり前の日常になるのだろう。

ミラクル、シンクロ、日常なんて、所詮は頻度の問題だもの。

次の引っ越しはどうなるのだろう？

何が？どのように？やって来るのだろうか？
大いに関心あり。

今はどの企業にも属していない。
”天”の丸抱えだと思っている。

今頃、天が家具付きの部屋を探してくれているのだろう。
これまでもそうだったのだと思う。考えたことはなかつただけで。

どこへでも行きますよ。